

研究課題の名称

夜間帯における ER での入院患者滞在時間延長の原因・要因に関する調査

研究の目的及び意義

当院は3次救急でありCPA、ロードアンドゴーなどの超重症から救急車、ウォークインなど様々な重症度の患者が日夜運ばれてくる。ERでの診療、滞在時間、待ち時間が増えることは患者にとっても不利益となる。ERでの滞在時間を短縮できれば新たな患者の受け入れが可能となる。また効率よく病棟入院できることは患者自身の安楽につながると考える。よって本研究では特に対応するスタッフが少なくなる夜勤帯の入院患者のER滞在時間を調査し、滞在時間延長の原因について調査を行い、その要因の解決のための対策立案の際の基礎データにしたいと考える。

研究対象者の選定方針

夜勤帯にERでの診療を受け入院となった患者

選考基準: 16時半から翌8時半までの間にERで診療を受け、診察の結果入院となった患者除外
基準: 入院をしなかったER受診患者(入院が予測される患者がERに長期滞在されることの要因を調査するため入院を要しない患者は除外とした)

研究予定期間

承認日(2020年3月24日)から西暦2020年4月30日